

キャンプ座間に関する協議会第２２回幹事会  
(ま と め)

1 日 時 令和３年１１月１８日（木） １１：００～１１：２０

2 場 所 座間市役所 ３階庁議室

3 出席者

(1) 南関東防衛局

原田企画部長、本田管理部長、増野地方調整課長

(2) 座間市

三浦副市長、松橋市議会副議長、長本市基地返還促進等市民連絡協議会副会長、大木企画財政部長

(3) 神奈川県

三森基地対策部長

4 会議の概要

(1) 負担軽減策

① これまでの取組と今後の負担軽減策について

座間市から、「返還跡地利用構想は、本年度末をもって、すべて完成する。これまでの多大な協力に感謝申し上げる。今後も引き続き、本協議会において、覚書の履行について協議をしてまいりたい。誠心誠意、基地負担の軽減に取り組んでいただきたい。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「返還跡地を利用される市民の皆様が基地負担の軽減を実感していただければ幸いである。更なる基地負担軽減のため、引き続き座間市と協議し、覚書の履行に向け、誠心誠意取り組んでまいりたい。」との発言があった。

② キャンプ座間への座間市営水道の導入について

座間市から、「第２０回幹事会において、キャンプ座間への座間市営水道の導入の取組について協議した際、過去の経緯を整理し、履行に向けての問題点を協議したいとの発言があったが、このことについて報告をお願いしたい。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「元々、キャンプ座間においては、地下水のみを使用していたが、米軍が水不足のため、別の水源を必要とした際、座間市から神奈川県営水道による供給を図るよう要望があった。そのため、県と協議し給水可能との回答を得て所要の整備が行われ、平成１４年以降、キャンプ座間では地下水とともに神奈川県営水道が使用されている。キャンプ座間への座間市営水道の導入にあたっては、米側が新たな施設整備や座間市営水道の購入が生じるとしており、費用負担が主な課題である。」との説明があり、これに対して、座間市から「新たな施設整備や座間市営水道の購入といった費用負担が課題ということだが、覚書に基づき、引き続きご尽力いた

だきたい。」との発言があった。

(2) その他の事項

南関東防衛局から「旧陸軍士官学校が座間市道等の地下に埋設した送水管について、現況調査を実施しているところであり、詳細が明らかになれば、道路法第35条の規定に基づく占用協議を行いたい」との報告があり、これに対して、座間市から「本市としても協議に応じたい」との発言があった。

以 上